

おおきくなーれ!!

みてみて!うちの子

二十余年余り前の話になります。子どもたちに本との出会いの場を作ろうと「子ども文庫」を始めました。公民館にある文庫を開けるため、早めに家を出たのに、着いてみるともう自転車が数台並び、子どもたちが「おばちゃん遅いよ、力ギ貸して開けるき」と言っていました。図書室の窓を開けて、本棚の前では借りる本を



さがしていました。次々と子どもたちが来て、読む人、友だちと遊ぶ人、工作に夢中の人、「ねえねえ、おばちゃんきいて」「おばさんオセロしよう」と賑やかなひとときの後、絵本の読み語りをしました。皆の目がこちらに集中しました。

見上げるような大人になっていて驚きます。最近、白牡丹祭が楽しみです。毎年文芸賞の発表の中

子どもに出会いの 歓びをもらって

この詩はあの子らしいわ。あの元気な子たちが、こんな短歌や俳句を作っているわ。なごど嬉しく読ませてもらっているのです。

読書を楽しみ、元気に外遊びをする子どもは、いつのまにか感性を養い、観察力表現力を身につけているのですね。子どもの持っている芽を見つけ、育て開花させてください。

(香我美町・元 文庫のおばちゃん)

おおきくなーれ!!

このコーナーでは市内在住で2歳の誕生日までのお子さんを紹介しています。ぜひ、この機会にお子さんを広報に掲載してみませんか? 載せたい写真をご用意のうえ、下記まで連絡してください。たくさんの応募をお待ちしています。

■連絡先 市役所総務課 秘書広報係 ☎ 56-0511



私たちにできることから 25

地域の 正しく使って!ごみステーションを美しく



環境対策課
☎ 57-8508

ごみ集積所に分別せずに出したり、収集日を間違えて出したごみは、収集されません。もし、あなたが集積所を管理する立場だったら…。分別をきちんとし、集積所をきれいに使うという意識は、地域の一人ひとりが持たないといけない問題です。

手作り看板設置



きれいな集積所は 地域の心!

朝早くからごみ収集車が回収するまで、集積ボックス内で管理している地域があります。ごみの分別徹底と、不法投棄されないようにカギのついた集積ボックスを、市の補助金と利用者の負担金で造っています。「管理はみんなが責任を持ってかわっています。朝早くから大変だけど、地域がひとつになって取り組んでいます」と話してくれました。

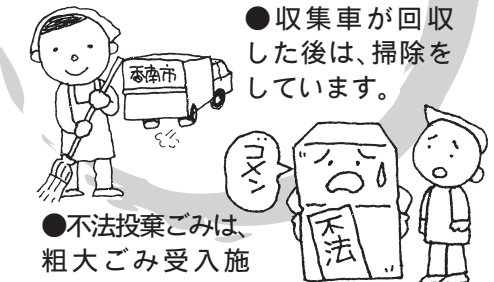


朝早くから大変だけど、地域がひとつになって取り組んでいます」と話してくれました。

知っていましたか?
ごみステーションは、地域の皆さんの努力で、きれいに保たれています。

集積所を管理する 地域の声

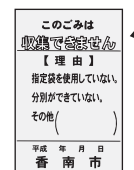
●収集日以外の日にごみが出ているときは、地域の責任者の自宅で保管しています。
●指定袋でないごみは、指定袋に入れ替えています。



●収集車が回収した後は、掃除をしています。

違反ゴミへの イエローシールに ご用心!!

黄色の紙がはられたごみには、収集されなかった理由と日付が記載されています。そのごみの処分は、地域によっては集積所を管理する人たちが、分別し指定された日に出し直しています。



▲このごみは、粗大ごみへ出すべき硬質プラの洗面器などが、プラスチック製容器包装類の収集日に間違えて出されていました。

ごみステーションの集積ボックス費用の一部を補助します

※集合住宅は除く

◆補助金額…購入価格の2分の1以内で限度額は10万円です。

◆要件…事前に市環境対策課と協議が必要。

新設…交通の妨げにならない場所・床はごみ袋が汚れないように工夫する・周囲を金網などで囲うなど
修繕…全塗装や金網などの取り替えなど

